

第3節 発展を支える交通ネットワークの充実

1 広域道路ネットワークの構築

●東九州自動車道・宇佐別府道路・大分空港道路

- ・東九州自動車道・宇佐別府道路については、暫定2車線区間の4車線化に向けた取組を推進します。
- ・大分空港道路については、平成28年度から日出IC～安岐IC間の一部区間で4車線区間の延伸を推進しています。

●中九州横断道路

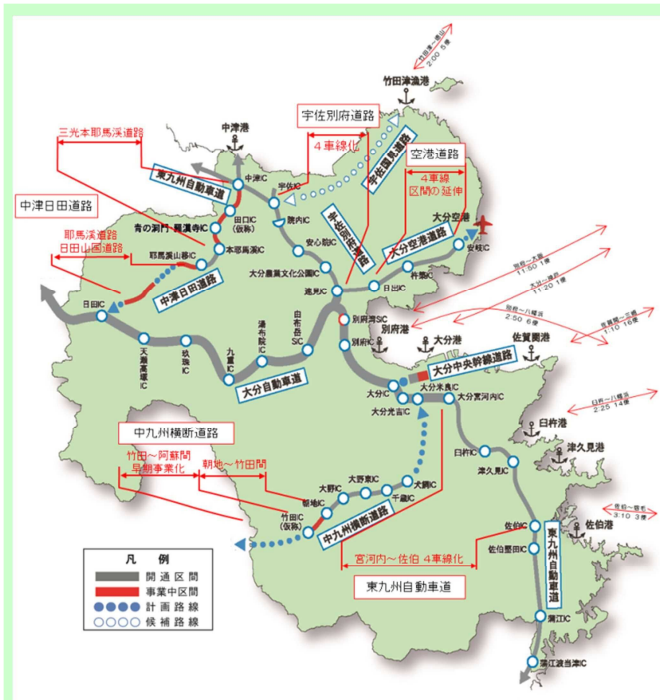
- ・「朝地～竹田」間は、平成30年度の開通に向けて、整備が進められています。
- ・「竹田～阿蘇」間は、平成28年度より計画段階評価の手続きが進められており、平成29年度には2回目の九州地方小委員会が開催されました。引き続き第3回委員会の早期開催、事業化に向けて国への要望活動を行います。

●中津日田道路

- ・現在約26kmの区間（三光本耶馬溪道路（直轄権限代行）、耶馬溪道路、日田山国道路）で整備を推進しています。

●スマートIC

- ・平成29年度は、高速道路の利便性向上のため、引き続き、別府湾スマートIC（上り線）の整備を推進します。（H30年度開通予定）



出典 別府市ホームページ

大分自動車道 別府湾スマートIC（別府市）隣接するICを周遊する新たな観光ルートの形成や、ICからの10分圏域の拡大により、別府北部地域の活性化や観光客の増加が期待される。

【目標指標】

指 標	基準値		29年度			31年度	36年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値
大分市中心部まで概ね60分で到達できる地域の割合 (%)	H26	73	74	74	100.0%	76	78
地域高規格道路整備延長 (km)	H26	67km	68km	68km	100.0%	77km	100km

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	平成29年度は庄の原佐野線（元町・下郡工区）や三重新殿線（内田工区）等の開通により、大分市中心部までの所要時間を改善した。

2 地域道路ネットワークの充実

●地域ネットワークの整備

- ・幹線道路は、渋滞や交通安全上の課題の多い箇所、インターチェンジへのアクセス道路等の整備を進め、物流効率化や産業の発展、生活利便性の向上に寄与します。また、合併新市中心と旧市町村中心を結ぶ道路等で未改良で残された区間や港湾とインターチェンジを結ぶ道路等の整備を進めます。平成29年度は、三重新殿線内田工区などの開通により、地域道路ネットワークの充実を図りました。
- ・異常気象時等においても地域間のネットワークを確保するため啓開ルート上ののり面崩壊対策を平成29年度は国道442号など8路線22箇所で行いました。



三重新殿線 内田工区（豊後大野市）



国道442号野津原工区（大分市）

●中山間地域等の生活道路

- ・既設の道路敷を利用した歩道拡幅や側溝整備等の局所改善を平成29年度は県道長洲宇佐神宮線等約120箇所で行いました。
- ・災害時の通行止めにより、集落の孤立が発生する可能性のある道路について、道路のり面对策を推進します。平成29年度は県道四浦日代線など2路線14箇所で行いました。

《歩道拡幅 実施事例》

県道 長洲宇佐神宮線（宇佐市）



《道路のり面((落石)対策 実施事例》

県道四浦日代線四浦工区（臼杵市）



【目標指標】

指 標	基準値		29年度			31年度	36年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値
小規模集落から幹線道路へのアクセスを改善した集落数	H26	-	61	55	90.2%	90	144

【指標による評価】

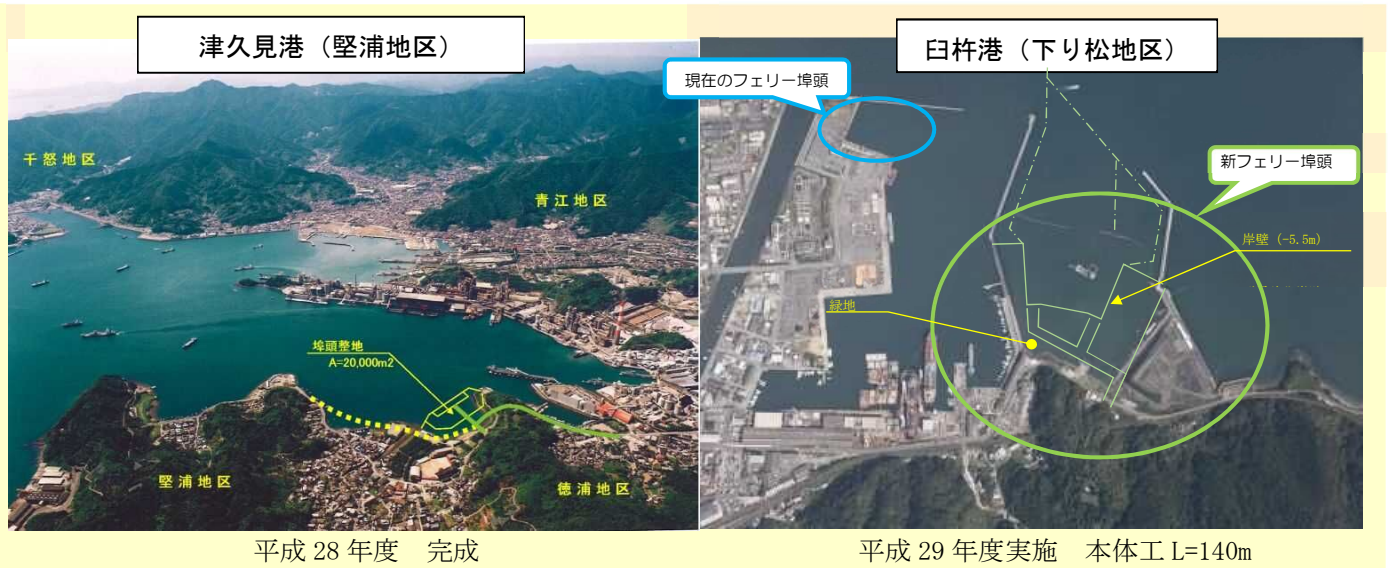
評価	理 由 等
概ね達成	埋蔵文化財調査や用地交渉の難航などにより完成年度が延長した箇所もあったが、弓立上戸次線(河原内工区)等の開通により、目標値を概ね達成した。

3 海上輸送拠点の強化

●港湾機能の強化

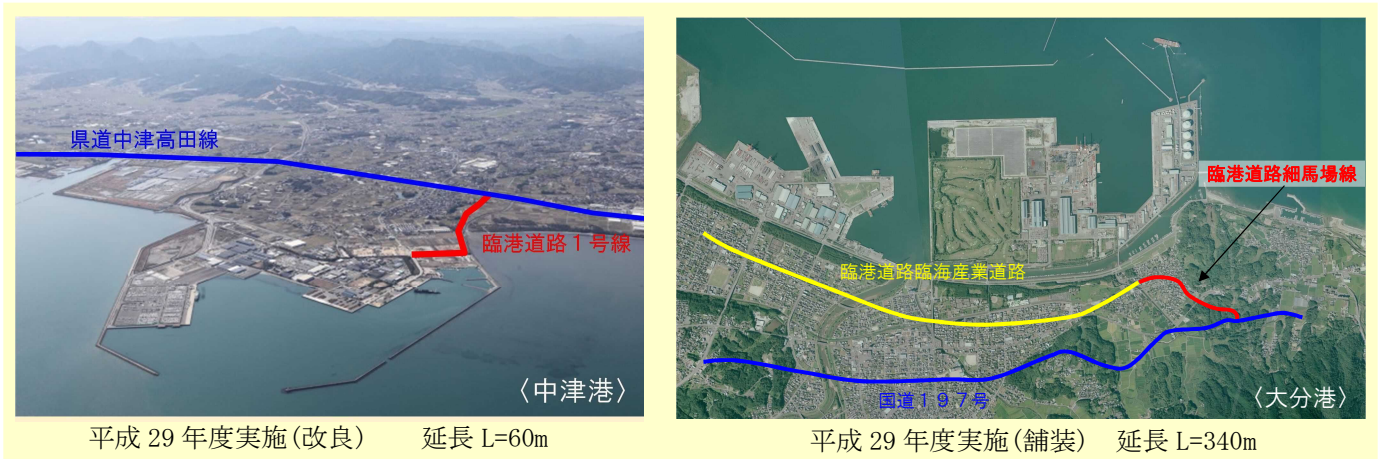
近年、砂・砂利を取り扱う船舶が大型化しており、既存公共埠頭の利用に際しては、水深不足のため喫水調整を行い入港しています。今後の船舶の大型化による貨物輸送の効率化、地域産業の活性化に繋がる新たな埠頭の整備を実施しています。

現在、港内にフェリー、造船所、魚市場が混在し、大型船入港時は小型船の航行が危険な状態となっています。フェリーの大型化や船舶の安全な航行を確保するため、新フェリーターミナルの整備を実施しています。



●幹線道路と交通アクセスの向上

物流の効率化と共に港周辺の渋滞緩和、安全性の向上、沿道環境の改善に寄与するため臨港道路の整備を推進しています。



【目標指標】

指 標	基準値		29年度			31年度	36年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値
新規パースの整備延長	H26	—	130m	130m	100.0%	130m	260m

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	計画的な予算・工程管理を行い、目標を達成した。